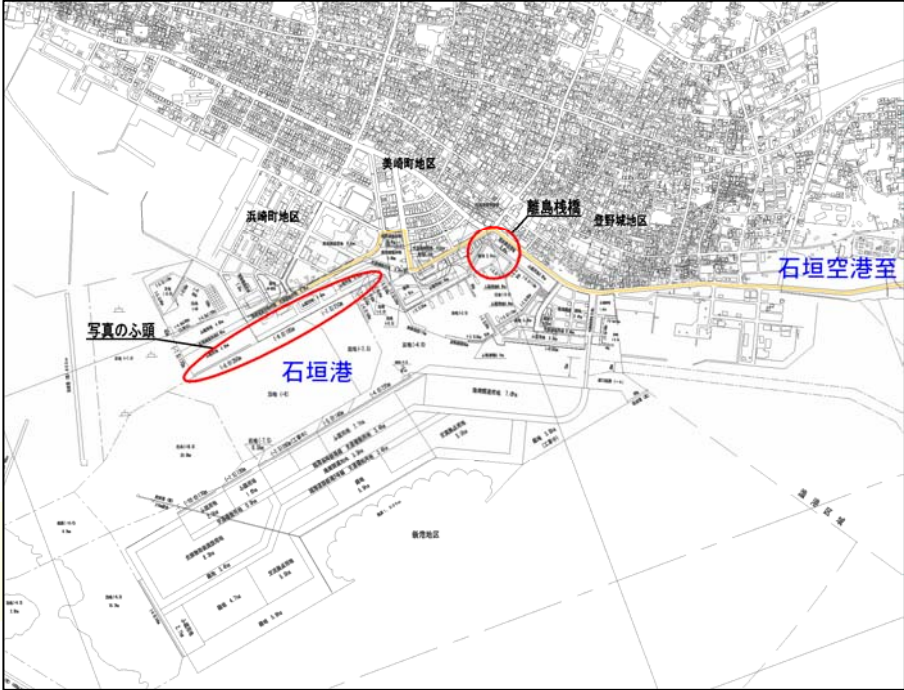


観光社会資本の事例

テーマ	人々の夢をのせるクルーズ船、活気があふれる離島棧橋	
【施設の状況写真】		
		
<p>通常、安全のため、一般の人の目に付くことはありませんが、八重山圏域の生活物資を運び込む玄関口として、石垣港のふ頭は、活気にみちています。</p>	<p>多くの観光客や住民で賑わう、離島棧橋。1日約200便の離島旅客船が往来する棧橋は、島の観光と生活の中心地です。</p>	
【施設の利用写真】		
		
<p>時折寄港するクルーズ船が、石垣港の景観にアクセントを加え、観光客や市民の目を楽しませます。</p>	<p>毎年7月に開催される「石垣港みなとまつり」で賑わう離島棧橋。多くの観光客や市民の集うイベントです。</p>	
【観光資源としての利用状況】		
<p>石垣港本港地区は、沖縄県八重山圏域の物流の拠点として大きな役割を果たしています。また、同地区の離島棧橋は、八重山への入域観光客の約8割が利用する観光拠点でもあります。</p> <p>通常、ふ頭では、コンテナ等の貨物を取り扱っていますが、年間30隻程度寄港する大型クルーズ船が石垣港の景観にアクセントを加えています。</p> <p>毎年、石垣港みなとまつりが開催される離島棧橋は観光や生活に大きく貢献しており、地元でも有名なスポットです。</p>		

テーマ	人々の夢をのせるクルーズ船、活気があふれる離島栈橋
【社会資本の基礎データ】 ○名称 石垣港新港地区 ○所在地 沖縄県石垣市浜崎町3丁目、美崎町1～2番地 ○事業名 石垣港港湾整備事業 ○事業主体 国、石垣市 ○事業期間 昭和40年～平成20年代前半	
【社会資本の役割・効果】 ○物流基盤整備の効果 石垣港新港地区は、島嶼圏である八重山群島の物流の拠点です。八重山群島で消費する生活雑貨、鉱産品や島外へ出荷される農産品のほとんどを取り扱い、生活基盤の安定や経済振興に役立っています。 ○観光基盤整備の効果 石垣港離島栈橋は、竹富島、西表島島へ渡る多くの観光客に利用されています。 八重山を訪れる観光客のほとんどは、離島観光に訪れるため、当栈橋の整備は、観光振興に大きく役立っています	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 石垣港湾事務所 http://www.dc.ogb.go.jp/ishigakikou 石垣市都市建設部港湾課 http://www.city.ishigaki.okinawa.jp/140000/140400/	